

平昌冬季パラ閉幕



発行所
山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2018

2018年
3月18日
〈日曜日〉

電子
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

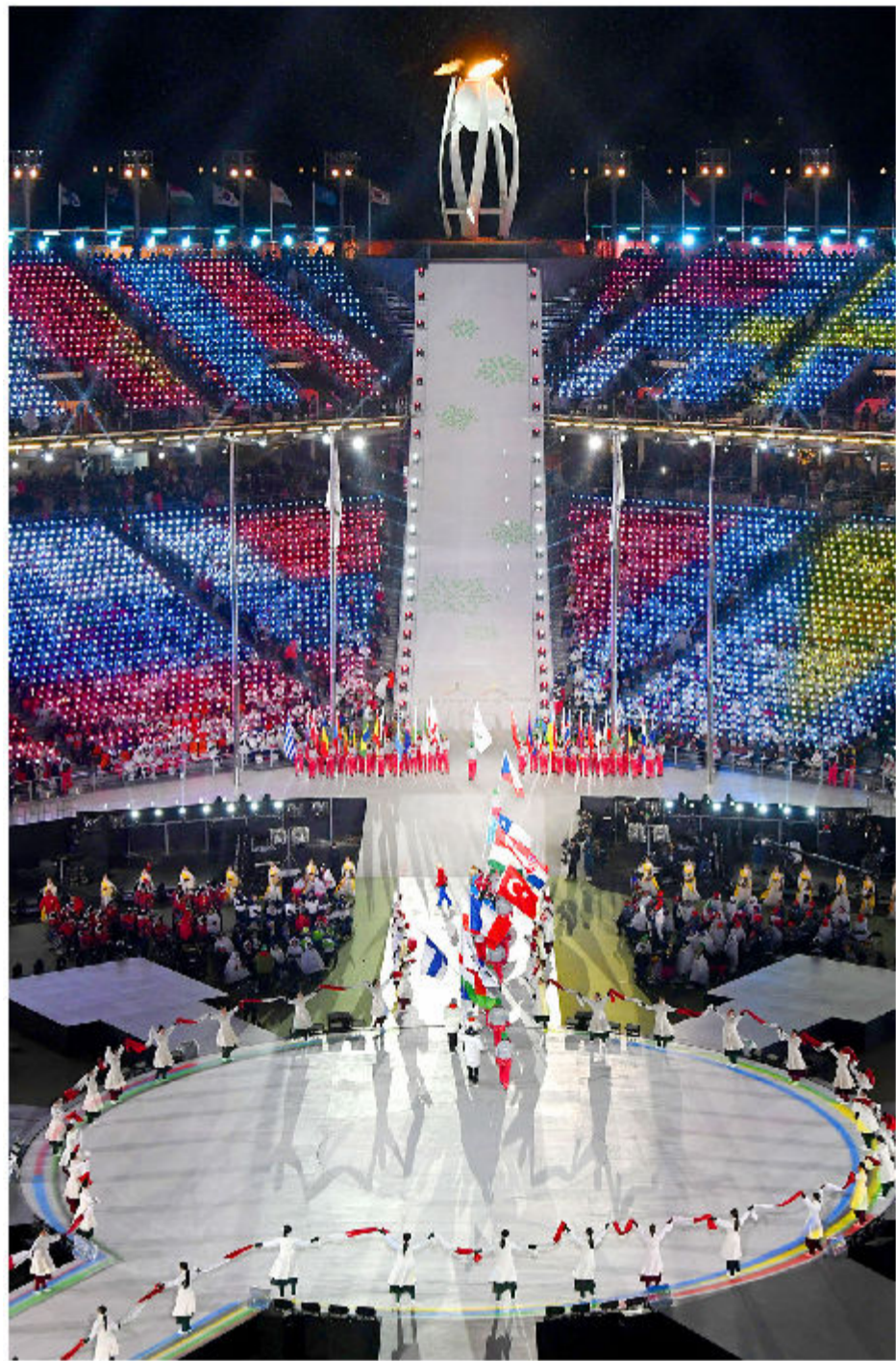
日本、金3含むメダル10

【平昌共同】障害者スポーツの祭典、第12回冬季パラリンピック平昌大会は18日夜、韓国北東部の平昌五輪スタジアムで閉会式が行われ、10日間の熱戦に幕を下ろした。日本選手団は金3、銀4、銅3のメダル10個を獲得し、前回ソチ大会の6個を上回る目標を達成した。韓国の北京冬季大会が終わり、バトンは2020年の東京夏季大会、4年後の北京冬季大会に引き継がれた。

アルペンスキーマ女子の村岡桃佳(21)は早稲田大は18日の回転座位で2位に入り、冬季日本選手最多となる1大会5個のメダルを獲得。閉会式では村岡

が旗手を務め、主将のパライアスホッケーの須藤悟(47)は日本協会にら参加した。韓国の文在寅(ムン・ジェイン)大統領や20年大会を開催する東京都の小池百合子知事も出席し、パラリンピック旗が次回冬季大会開催都市の北京に引き渡された。

平昌冬季パラリンピックの閉会式で入場する各国国旗(共同)



閉会式の会場に入り、笑顔を見せる新田佳浩(左)と山本篤(中央)



大会は6競技80種目で争われ、史上最多49カ国・地域から約570選手が参加。ドーピング問題を抱えるロシア勢は国旗や国歌を使えない「中立のパラリンピック選手(NP A)」として個人資格で参加し、金メダル数13個でトップの米国に次いで、カナダと並ぶ8個を獲得した。北朝鮮は特別枠でノルディックスキー距離の2選手が初参加した。

購読・試読のお申し込みは▶
フリーダイヤル 0120-81-8040